



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト
 コード番号 8798 URL <https://www.advancecreate.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 経営企画本部長 (氏名) 横山 欣二 TEL 06-6204-1193
 定時株主総会開催予定日 2020年12月18日 配当支払開始予定日 2020年12月21日
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の連結業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年9月期 | 10,510 | 1.4 | 1,184 | △12.0 | 1,095 | △15.6 | 700 | △17.1 |
| 2019年9月期 | 10,365 | 9.5 | 1,345 | 15.1 | 1,297 | 14.3 | 844 | 7.5 |

(注) 包括利益 2020年9月期 790百万円 (16.9%) 2019年9月期 675百万円 (△20.5%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2020年9月期 | 66.73 | 66.68 | 13.7 | 11.9 | 11.3 |
| 2019年9月期 | 81.62 | — | 18.6 | 16.3 | 13.0 |

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 -百万円 2019年9月期 -百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年9月期 | 10,312 | 5,610 | 54.4 | 522.14 |
| 2019年9月期 | 8,168 | 4,591 | 56.2 | 444.36 |

(参考) 自己資本 2020年9月期 5,606百万円 2019年9月期 4,590百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2020年9月期 | 1,351 | △527 | 1,097 | 2,537 |
| 2019年9月期 | △278 | 9 | △799 | 616 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2019年9月期 | — | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 | 535 | 61.3 | 11.4 |
| 2020年9月期 | — | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 | 547 | 74.9 | 10.3 |
| 2021年9月期(予想) | — | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 | | 53.7 | |

3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,500 | 9.4 | 1,570 | 32.6 | 1,500 | 36.9 | 1,000 | 42.8 | 93.13 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年9月期 | 11,037,600株 | 2019年9月期 | 10,999,100株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年9月期 | 300,239株 | 2019年9月期 | 667,489株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2020年9月期 | 10,495,555株 | 2019年9月期 | 10,346,242株 |

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「従業員持株会支援信託ESOP」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有する当社株式及び「株式給付信託（J-ESOP）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する当社株式を含めております。

(参考) 個別業績の概要

2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|-----|------|-----|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年9月期 | 9,107 | 2.4 | 881 | 2.5 | 1,055 | 4.5 | 737 | 4.1 |
| 2019年9月期 | 8,891 | 6.5 | 860 | 2.0 | 1,009 | △10.2 | 708 | △17.7 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年9月期 | 70.26 | 70.21 |
| 2019年9月期 | 68.48 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年9月期 | 8,868 | 4,895 | 55.2 | 455.60 |
| 2019年9月期 | 7,361 | 3,839 | 52.2 | 371.61 |

(参考) 自己資本 2020年9月期 4,892百万円 2019年9月期 3,839百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①経営成績に関する説明

当連結会計年度（2019年10月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、内外における新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、外出制限による個人消費の低迷や生産の停滞、輸出の大幅な減少が見られました。緊急事態宣言の解除や各種の経済対策により、足元では持ち直しの動きも見られますが、依然として先行きは不透明感が強くなっております。

このような状況下、当業界では、個人の生活防衛意識の高まりから、保険へのニーズが急速に増加しております。当社は、5G時代の到来を睨んで従前より対応を進めてきた「オンライン面談」により、対面相談と同水準のサービスを実現し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しながら、真にお客様の役に立つ情報の提供とコンサルティングの実現を図っております。

当社グループは「人とテクノロジーを深化させ進化する会社」を標榜し、あらゆる保険ニーズに対応できる「保険業界のプラットフォーム」を構築すべく、日々新たな挑戦を行ってきました。そして、OMO（Online Merges with Offline. =オンラインとオフラインの融合）時代に相応しいエコシステム（ビジネス生態系）を引き続き構築してまいります。

具体的には、「保険市場 コンサルティングプラザ」のリニューアルに加えて、保険業界の共通プラットフォームシステム（Advance Create Cloud Platform、以下「ACP」）の開発、さらに、23,000件以上の「オンライン面談」で培った知見を結集し、オンラインでの保険相談に特化したビデオ通話システムの開発を進めております。これらのシステムを当社以外の保険代理店にも提供することで、保険募集現場における生産性・募集品質の向上と、協業事業の拡大を目指します。

これらの新たな施策を拡充させるとともに、ガバナンス体制およびコンプライアンス体制の一層の充実や、情報セキュリティ体制の強化を継続し、保険業法や個人情報保護法等の関係法令に適応した保険募集管理体制の強化に全社的に取り組み、管理体制面において積極的に経営資源を投下してまいります。

これらの取り組みの結果、保険代理店事業におきましては、期初から積極的なWebプロモーションの実施により順調に推移しておりましたが、4月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で実面談の件数が減少しました。「オンライン面談」によって一定の面談数は確保できたものの、従業員の教育研修等に時間を要したことから収益性が実面談に及ばず、全体として売上高は微増にとどまりました。メディア事業及びメディアレップ事業におきましては、当社の強みである保険選びサイト「保険市場（ほけんいちば）」の集客力とWEB広告の運用ノウハウを活かし、業容拡大を図り増収となりました。また、再保険事業におきましても順調に推移いたしました。一方で利益面においては、広告原価や販売費及び一般管理費が増加したことにより減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は10,510百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1,184百万円（前年同期比12.0%減）、経常利益は1,095百万円（前年同期比15.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は700百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

（単位：百万円、前期比%）

| | 連結ベース | | 単体ベース | |
|-----------------|--------|-------|-------|-------|
| | 金額 | 前期比% | 金額 | 前期比% |
| 売上高 | 10,510 | 101.4 | 9,107 | 102.4 |
| 営業利益 | 1,184 | 88.0 | 881 | 102.5 |
| 経常利益 | 1,095 | 84.4 | 1,055 | 104.5 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 700 | 82.9 | 737 | 104.1 |

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当社グループは従来、「保険代理店事業」、「ASP事業」、「メディア事業」、「再保険事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より、これまで「メディア事業」に含まれていた「メディアレップ事業」の重要性が高まったことから、独立した報告セグメントとして扱うことといたしました。これにより、当連結会計年度より、「保険代理店事業」、「ASP事業」、「メディア事業」、「メディアレップ事業」、「再保険事業」の5つを報告セグメントとして開示しております。

（保険代理店事業）

期初から積極的なWebプロモーションの実施により順調に推移しておりましたが、4月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で実面談の件数が減少しました。「オンライン面談」によって一定の面談数は確保できたものの、従業員の教育研修等に時間を要したことから収益性が実面談に及ばず、全体として売上高は微増にとどまりました。

この結果、保険代理店事業におきましては、当連結会計年度の売上高は8,923百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は868百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

（ASP事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により、乗合保険代理店への営業活動が想定通りに進捗せず、売上高は横ばいとなりました。一方で利益面においては、販売費及び一般管理費が増加したため、減益となりました。

この結果、ASP事業におきましては、当連結会計年度の売上高は183百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は12百万円（前年同期比84.2%減）となりました。

（メディア事業）

保険選びサイト「保険市場（ほけんいちば）」への広告出稿が引き続き好調に推移し、増収増益となりました。

この結果、メディア事業におきましては、売上高は1,250百万円（前期比17.4%増）、営業利益は261百万円（前期比23.5%増）となりました。

（メディアレップ事業）

保険選びサイト「保険市場（ほけんいちば）」の運営を通じて蓄積したWEBマーケティングのノウハウをベースに、保険専門の広告代理店として様々なサービスの提供に努めた結果、増収となりました。一方で利益面につきましては、新たなサービスの開発等に伴って広告原価が増加したため減益となりました。

この結果、メディアレップ事業におきましては、売上高は807百万円（前期比19.2%増）、営業損失は92百万円の損失（前期は160百万円の利益）となりました。

（再保険事業）

売上高は引き続き順調に推移し、増収増益となりました。

この結果、再保険事業におきましては、売上高は851百万円（前期比9.9%増）、営業利益は131百万円（前期比19.1%増）となりました。

②今後の見通し

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対応が進む中で、緩やかな回復基調で推移するものと見込まれますが、国内外における新型コロナウイルス感染症の再拡大リスクや、自然災害、海外における地政学リスク、経済リスク等もあり、先行きは不透明な状況が続くものと考えられます。

このような景気動向の中、保険業界においては、マイナス金利の影響や、お客様本位の業務運営を行うための規制強化等により、保険代理店を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続くことが想定される一方、個人の生活防衛意識の高まりもあり、公的保障を補完するものとして民間保険に対するニーズは依然として底堅く推移するものと見込まれます。

かかる経営環境の下、当社は「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」という経営方針に基づき、お客様のニーズやマーケット動向に機敏に対応し、業績の向上に努めてまいります。

主要な施策としましては、

- i) 保険業界のイノベーターとして常に進化し続けるべく人材の育成・強化を図ってまいります。
- ii) 「オンライン面談」を軸としたOMO戦略を引き続き推進し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しながら、真にお客様の役に立つ情報の提供とコンサルティングの実現を図ってまいります。
- iii) Webマーケティングを強化するとともに各種端末への対応も強化し、お客様の利便性向上に向けたプラットフォーム戦略をさらに推進してまいります。
- iv) 「協業」代理店とのシステム連携強化により、お客様ニーズに効率的かつ効果的に対応できる体制を構築し、当社の業績進展を図ってまいります。
- v) 保険代理店事業を軸として、ASP事業、メディア事業、メディアレップ事業及び再保険事業においてシナジーを最大限追求し、保険に関わるあらゆる収益機会にアプローチする「金融情報サービス業」として確固たる営業基盤を構築してまいります。
- vi) お客様本位の業務運営を推進するべく、コンプライアンスチェック体制の充実やシステム化、情報セキュリティ体制の構築、研修制度の強化等、より一層の保険募集管理体制の強化を図ってまいります。

これらの取り組みにより、次期（2020年10月～2021年9月）の連結業績につきましては、売上高11,500百万円、営業利益1,570百万円、経常利益1,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円を想定しております。なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、現状の継続を前提としております。

（2）当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産合計）

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,144百万円増加し10,312百万円（前連結会計年度末は8,168百万円）となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比1,549百万円増加しましたが、これは主に、現金及び預金の増加1,953百万円、受取手形及び売掛金の増加97百万円、未収入金の減少664百万円等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末比570百万円増加しましたが、これは主に、投資その他の資産の増加425百万円等によるものです。

（負債合計）

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,126百万円増加し4,702百万円（前連結会計年度末は3,576百万円）となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比259百万円増加しましたが、これは主に、1年内償還予定の社債の増加200百万円、未払金の増加176百万円及び未払法人税等の減少217百万円等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末比866百万円増加しましたが、これは主に、社債の増加800百万円等によるものです。

（純資産合計）

純資産は前連結会計年度末比1,018百万円増加しましたが、これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円の計上、剰余金の配当による減少538百万円及び自己株式の処分による増加695百万円等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローの収入1,351百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの支出527百万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの収入1,097百万円により、1,920百万円増加し、2,537百万円となりました。

当連結会計年度中における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は、税金等調整前当期純利益1,029百万円（前連結会計年度は1,270百万円）、減価償却費409百万円（前連結会計年度は385百万円）、未収入金の増減額664百万円（前連結会計年度は△1,266百万円）及び法人税等の支払額574百万円（前連結会計年度は310百万円）等により、1,351百万円の収入（前連結会計年度は278百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は、無形固定資産の取得による支出362百万円及び差入保証金の差入による支出45百万円等により、527百万円の支出（前連結会計年度は9百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果獲得した資金は、配当金の支払額537百万円、社債の発行による収入981百万円及び自己株式の処分による収入686百万円等により、1,097百万円の収入（前連結会計年度は799百万円の支出）となりました。

（3）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元と保険流通市場におけるシェアの拡大を経営の重要課題として位置付けております。将来の成長戦略を遂行していくための原資となる内部留保の充実に努めるとともに、業績に応じた配当の実施等により、株主価値を高めることを基本方針としております。

当該方針に基づき、当事業年度の期末配当金につきましては、1株当たり25.0円とさせていただき、すでに2020年6月1日に実施済みの第2四半期配当金1株当たり25.0円とあわせまして、年間配当金は1株当たり50.0円となります。

また、次期につきましては、第2四半期配当金、期末配当金をそれぞれ1株につき25.0円とし、1株当たり年間配当金を50.0円とする見込みであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後につきましては、外国人株主比率及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年9月30日) | 当連結会計年度 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 678,658 | 2,632,288 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,001,654 | 1,099,522 |
| 未収入金 | 2,785,215 | 2,120,899 |
| 未収還付法人税等 | — | 15,225 |
| その他 | 548,064 | 695,462 |
| 流動資産合計 | 5,013,592 | 6,563,398 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 515,830 | 546,205 |
| 減価償却累計額 | △366,945 | △409,707 |
| 建物及び構築物（純額） | 148,885 | 136,498 |
| 工具、器具及び備品 | 600,104 | 630,121 |
| 減価償却累計額 | △504,550 | △550,435 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 95,554 | 79,685 |
| リース資産 | 863,226 | 966,417 |
| 減価償却累計額 | △523,991 | △565,429 |
| リース資産（純額） | 339,235 | 400,988 |
| 有形固定資産合計 | 583,674 | 617,172 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 567,425 | 518,631 |
| その他 | 7,513 | 167,744 |
| 無形固定資産合計 | 574,939 | 686,376 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 219,324 | 351,506 |
| 差入保証金 | 635,850 | 678,655 |
| 保険積立金 | 691,932 | 716,258 |
| 繰延税金資産 | 298,340 | 271,683 |
| その他 | 150,419 | 403,056 |
| 投資その他の資産合計 | 1,995,867 | 2,421,161 |
| 固定資産合計 | 3,154,482 | 3,724,710 |
| 繰延資産 | — | 24,688 |
| 資産合計 | 8,168,074 | 10,312,797 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年9月30日) | 当連結会計年度 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| リース債務 | 71,892 | 80,116 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 200,000 |
| 未払法人税等 | 324,388 | 106,616 |
| 未払金 | 911,581 | 1,087,762 |
| 預り金 | 410,216 | 410,212 |
| 賞与引当金 | 181,676 | 183,305 |
| 資産除去債務 | — | 6,777 |
| その他 | 539,285 | 623,855 |
| 流動負債合計 | 2,439,041 | 2,698,647 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 167,630 | 127,630 |
| 社債 | — | 800,000 |
| 退職給付に係る負債 | 331,245 | 356,206 |
| リース債務 | 306,358 | 369,609 |
| 資産除去債務 | 194,123 | 214,016 |
| その他 | 138,304 | 136,594 |
| 固定負債合計 | 1,137,662 | 2,004,057 |
| 負債合計 | 3,576,703 | 4,702,704 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,915,314 | 2,954,496 |
| 資本剰余金 | 352,328 | 381,117 |
| 利益剰余金 | 2,424,075 | 2,586,305 |
| 自己株式 | △1,139,440 | △443,976 |
| 株主資本合計 | 4,552,277 | 5,477,943 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 38,693 | 128,534 |
| その他の包括利益累計額合計 | 38,693 | 128,534 |
| 新株予約権 | 400 | 3,615 |
| 純資産合計 | 4,591,371 | 5,610,092 |
| 負債純資産合計 | 8,168,074 | 10,312,797 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 10,365,215 | 10,510,699 |
| 売上原価 | 2,989,809 | 3,155,035 |
| 売上総利益 | 7,375,405 | 7,355,664 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 5,883 | 2,844 |
| 通信費 | 192,511 | 241,296 |
| 報酬給与 | 2,246,804 | 2,220,044 |
| 賞与引当金繰入額 | 181,676 | 183,305 |
| 退職給付費用 | 66,166 | 69,608 |
| 減価償却費 | 385,153 | 409,008 |
| 地代家賃 | 598,501 | 627,756 |
| 支払手数料 | 1,051,921 | 1,195,158 |
| その他 | 1,301,604 | 1,222,578 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 6,030,222 | 6,171,601 |
| 営業利益 | 1,345,182 | 1,184,063 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 591 | 2,735 |
| 受取配当金 | 4,697 | 1,499 |
| 未払配当金除斥益 | 927 | 883 |
| 受取保証料 | 8,180 | 8,180 |
| 貴金属地金売却益 | 15,530 | — |
| その他 | 2,960 | 4,345 |
| 営業外収益合計 | 32,886 | 17,644 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息・社債利息 | 4,274 | 12,342 |
| 支払保証料 | 3,621 | 402 |
| 支払手数料 | 67,456 | 88,090 |
| その他 | 4,773 | 5,105 |
| 営業外費用合計 | 80,126 | 105,940 |
| 経常利益 | 1,297,943 | 1,095,766 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 107,042 | — |
| 新株予約権戻入益 | — | 400 |
| 特別利益合計 | 107,042 | 400 |
| 特別損失 | | |
| 保険解約損 | 132,909 | — |
| 固定資産除却損 | 1,413 | — |
| 新型コロナウイルス感染症による損失 | — | 66,865 |
| 特別損失合計 | 134,323 | 66,865 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,270,662 | 1,029,301 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 487,948 | 341,851 |
| 法人税等調整額 | △61,779 | △12,961 |
| 法人税等合計 | 426,168 | 328,889 |
| 当期純利益 | 844,493 | 700,411 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 844,493 | 700,411 |

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 当期純利益 | 844,493 | 700,411 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △168,544 | 89,840 |
| その他の包括利益合計 | △168,544 | 89,840 |
| 包括利益 | 675,949 | 790,252 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 675,949 | 790,252 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,915,314 | 352,328 | 2,026,640 | △989,380 | 4,304,903 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 88,006 | | 88,006 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 2,915,314 | 352,328 | 2,114,647 | △989,380 | 4,392,910 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | | | — |
| 剰余金の配当 | | | △535,065 | | △535,065 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 844,493 | | 844,493 |
| 自己株式の取得 | | | | △190,388 | △190,388 |
| 自己株式の処分 | | | | 40,327 | 40,327 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 309,427 | △150,060 | 159,367 |
| 当期末残高 | 2,915,314 | 352,328 | 2,424,075 | △1,139,440 | 4,552,277 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|-------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 207,237 | 207,237 | 400 | 4,512,541 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | 88,006 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 207,237 | 207,237 | 400 | 4,600,548 |
| 当期変動額 | | | | |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | | — |
| 剰余金の配当 | | | | △535,065 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 844,493 |
| 自己株式の取得 | | | | △190,388 |
| 自己株式の処分 | | | | 40,327 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △168,544 | △168,544 | — | △168,544 |
| 当期変動額合計 | △168,544 | △168,544 | — | △9,177 |
| 当期末残高 | 38,693 | 38,693 | 400 | 4,591,371 |

当連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,915,314 | 352,328 | 2,424,075 | △1,139,440 | 4,552,277 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 2,915,314 | 352,328 | 2,424,075 | △1,139,440 | 4,552,277 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | 39,181 | 39,181 | | | 78,363 |
| 剰余金の配当 | | | △538,181 | | △538,181 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 700,411 | | 700,411 |
| 自己株式の取得 | | | | △77 | △77 |
| 自己株式の処分 | | △10,391 | | 695,542 | 685,150 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | 39,181 | 28,789 | 162,230 | 695,464 | 925,665 |
| 当期末残高 | 2,954,496 | 381,117 | 2,586,305 | △443,976 | 5,477,943 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|-------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 38,693 | 38,693 | 400 | 4,591,371 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 38,693 | 38,693 | 400 | 4,591,371 |
| 当期変動額 | | | | |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | | 78,363 |
| 剰余金の配当 | | | | △538,181 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 700,411 |
| 自己株式の取得 | | | | △77 |
| 自己株式の処分 | | | | 685,150 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 89,840 | 89,840 | 3,215 | 93,055 |
| 当期変動額合計 | 89,840 | 89,840 | 3,215 | 1,018,721 |
| 当期末残高 | 128,534 | 128,534 | 3,615 | 5,610,092 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,270,662 | 1,029,301 |
| 減価償却費 | 385,153 | 409,008 |
| 貴金属地金売却損益(△は益) | △15,530 | — |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △107,042 | — |
| 保険解約損益(△は益) | 132,909 | — |
| 固定資産除却損 | 1,413 | — |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 18,816 | 1,629 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 38,241 | 24,961 |
| 代理店手数料戻入引当金の増減額(△は減少) | △1,922 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △5,288 | △4,235 |
| 支払利息及び社債利息 | 4,274 | 12,342 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 48,842 | 64,529 |
| 繰延資産償却額 | — | 2,996 |
| 新型コロナウイルス感染症による損失 | — | 66,865 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △388,359 | △97,867 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | △1,266,070 | 664,513 |
| その他 | △86,814 | △175,512 |
| 小計 | 29,285 | 1,998,532 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7,242 | 4,876 |
| 利息の支払額 | △4,274 | △12,342 |
| 法人税等の支払額 | △310,780 | △574,558 |
| 新型コロナウイルス感染症による損失の支出 | — | △64,837 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △278,526 | 1,351,670 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △41,111 | △2,766 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 133,682 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △41,506 | △29,860 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △185,515 | △362,190 |
| 保険積立金の取得による支出 | △24,326 | △24,326 |
| 保険積立金の解約による収入 | 141,272 | — |
| 差入保証金の差入による支出 | △26,703 | △45,856 |
| 差入保証金の回収による収入 | 3,190 | 2,853 |
| その他 | 50,744 | △65,561 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 9,726 | △527,707 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 1,100,000 | 3,100,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △1,100,000 | △3,100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △42,540 | △40,000 |
| 社債の発行による収入 | — | 981,320 |
| 自己株式の処分による収入 | — | 686,790 |
| 自己株式の取得による支出 | △190,388 | △77 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | — | 66,973 |
| 配当金の支払額 | △534,583 | △537,672 |
| その他 | △31,567 | △59,411 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △799,079 | 1,097,922 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △4,773 | △1,019 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,072,653 | 1,920,866 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,689,003 | 616,350 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 616,350 | 2,537,216 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度において、自己株式の処分等に伴い、自己株式が695,464千円減少しております。この結果、当連結会計年度末において自己株式は443,976千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とした単位により事業活動を展開しております。

当社グループは従来、「保険代理店事業」、「ASP事業」、「メディア事業」、「再保険事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より、これまで「メディア事業」に含まれていた「メディアレップ事業」の重要性が高まったことから、独立した報告セグメントとして扱うことといたしました。

これにより、当連結会計年度より、「保険代理店事業」、「ASP事業」、「メディア事業」、「メディアレップ事業」、「再保険事業」の5つを報告セグメントとして開示しております。

各報告セグメントの概要は以下のとおりであります。

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 保険代理店事業 | 生命保険、損害保険の代理店業及び付帯業務 |
| ASP事業 | クラウドサービスの販売 |
| メディア事業 | 保険選びサイト「保険市場（ほけんいちば）」の広告業務取扱い |
| メディアレップ事業 | Webプロモーションの企画、制作およびマーケティング等サービス活動 |
| 再保険事業 | 再保険業 |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | |
|------------------------|-------------|---------|------------|---------------|-----------|------------|
| | 保険代理店 事業 | ASP事業 | メディア 事業 | メディアレップ 事業 | 再保険事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,907,949 | 182,613 | 1,065,461 | 433,982 | 775,207 | 10,365,215 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 801,377 | — | — | 243,825 | — | 1,045,203 |
| 計 | 8,709,327 | 182,613 | 1,065,461 | 677,807 | 775,207 | 11,410,418 |
| セグメント利益 | 778,135 | 82,159 | 211,662 | 160,749 | 110,075 | 1,342,782 |
| セグメント資産 | 6,915,318 | 77,424 | 698,202 | 102,427 | 1,294,450 | 9,087,823 |
| セグメント負債 | 3,520,499 | 1,449 | 301,292 | 57,341 | 615,868 | 4,496,452 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 373,760 | 11,393 | — | — | — | 385,153 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 418,978 | 76,276 | — | — | — | 495,254 |

| | 合計 | 調整額 (注1) | 連結財務諸表 計上額(注2) |
|------------------------|------------|-------------|-------------------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,365,215 | — | 10,365,215 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,045,203 | △1,045,203 | — |
| 計 | 11,410,418 | △1,045,203 | 10,365,215 |
| セグメント利益 | 1,342,782 | 2,400 | 1,345,182 |
| セグメント資産 | 9,087,823 | △919,748 | 8,168,074 |
| セグメント負債 | 4,496,452 | △919,748 | 3,576,703 |
| その他の項目 | | | |
| 減価償却費 | 385,153 | — | 385,153 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 495,254 | — | 495,254 |

（注）1. 調整額の内容は以下のとおりです。

- （1）セグメント利益の調整額2,400千円にはセグメント間取引消去2,400千円が含まれております。
 - （2）セグメント資産の調整額△919,748千円にはセグメント間取引消去△919,748千円が含まれております。
 - （3）セグメント負債の調整額△919,748千円にはセグメント間取引消去△919,748千円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | |
|------------------------|-------------|---------|------------|---------------|-----------|------------|
| | 保険代理店 事業 | ASP事業 | メディア 事業 | メディアレップ 事業 | 再保険事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,995,065 | 183,506 | 1,250,421 | 230,116 | 851,589 | 10,510,699 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 928,711 | — | — | 577,559 | — | 1,506,270 |
| 計 | 8,923,776 | 183,506 | 1,250,421 | 807,675 | 851,589 | 12,016,970 |
| セグメント利益 | 868,627 | 12,971 | 261,490 | △92,560 | 131,132 | 1,181,663 |
| セグメント資産 | 8,409,058 | 90,163 | 461,413 | 201,562 | 1,491,948 | 10,654,148 |
| セグメント負債 | 3,970,380 | 2,224 | 293,269 | 62,081 | 716,099 | 5,044,055 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 385,660 | 23,348 | — | — | — | 409,008 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 493,212 | 36,087 | — | — | — | 529,299 |

| | 合計 | 調整額 (注1) | 連結財務諸表 計上額(注2) |
|------------------------|------------|-------------|-------------------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,510,699 | — | 10,510,699 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,506,270 | △1,506,270 | — |
| 計 | 12,016,970 | △1,506,270 | 10,510,699 |
| セグメント利益 | 1,181,663 | 2,400 | 1,184,063 |
| セグメント資産 | 10,654,148 | △341,350 | 10,312,797 |
| セグメント負債 | 5,044,055 | △341,350 | 4,702,704 |
| その他の項目 | | | |
| 減価償却費 | 409,008 | — | 409,008 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 529,299 | — | 529,299 |

（注）1. 調整額の内容は以下のとおりです。

- （1）セグメント利益の調整額2,400千円にはセグメント間取引消去2,400千円が含まれております。
 - （2）セグメント資産の調整額△341,350千円にはセグメント間取引消去△341,350千円が含まれております。
 - （3）セグメント負債の調整額△341,350千円にはセグメント間取引消去△341,350千円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

（1株当たり情報）

| 前連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日） | | 当連結会計年度 （自 2019年10月1日 至 2020年9月30日） | |
|---|----------|---|----------|
| 1株当たり純資産額 | 444.36 円 | 1株当たり純資産額 | 522.14 円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 81.62 円 | 1株当たり当期純利益金額 | 66.73 円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | — 円 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 66.68 円 |

（注）1. 1株当たり当期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日） | 当連結会計年度 （自 2019年10月1日 至 2020年9月30日） |
|---|---|---|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益（千円） | 844,493 | 700,411 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円） | 844,493 | 700,411 |
| 普通株式の期中平均株式数（株） | 10,346,242 | 10,495,555 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円） | — | — |
| 普通株式増加数（株） | — | 7,952 |
| （うち新株予約権（株）） | （—） | （7,952） |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 第8回新株予約権 新株予約権の数 4,000個 （普通株式 400,000株） | 第8回新株予約権（失効） 新株予約権の数 4,000個 （普通株式 400,000株） 上記の新株予約権は、権利行使条件未達により、2019年12月19日をもって失効しております。 |

（注）1. 従業員持株会支援信託ESOP

株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております（前連結会計年度95,600株、当連結会計年度76,600株）。

また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（前連結会計年度106,443株、当連結会計年度85,974株）。

2. 株式給付信託（J-ESOP）

株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております（前連結会計年度222,700株、当連結会計年度222,400株）。

また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（前連結会計年度222,821株、当連結会計年度222,699株）。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。